

## 町田市における「徘徊SOSネットワーク」について

～徘徊高齢者等の搜索協力に関する協定について～

町田市健康福祉部高齢者福祉課

### 1. 概要

徘徊等により行方不明になった高齢者等の早期発見を図るため、警視庁町田警察署に入っただき、社団法人東京乗用旅客自動車協会三多摩支部町田地区会及び町田市新聞販売同業組合と、「徘徊等により行方不明になった高齢者等の搜索協力に関する協定」を締結し、無償による捜査協力を仰いでいる。

### 2. 協定締結の経過

- ・ 2001年度町田市防災無線を使用した行方不明高齢者は17人。全体の約71%を占めていた。徘徊高齢者等の行動は速く範囲は広いので、迅速な搜索協力体制が必要。
- ・ 2003年2月 (社団) 東京乗用旅客自動車協会三多摩支部町田地区会と搜索協力協定締結

町田地区会には、カンツリー交通、小田急交通南多摩、神奈中ハイヤー、京王自動車、相模中央交通、千代田自動車、富士交通の7社が加盟

- ・ 2005年6月 町田市新聞販売同業組合と搜索協力協定締結  
町田市新聞販売同業組合には、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞の各新聞店が加盟、全店舗数39

○町田地区会加盟各社のタクシーは夜間も市内をくまなく走行していること、また、町田市新聞販売同業組合の新聞配達員はタクシーが入れない路地裏まで入っていることから、より早期で広い範囲を、しかもこまめに搜索協力活動をお願いできる。

### 3. 具体的な流れ

- ① 家族等からの搜索協力依頼を市（高齢者福祉課）が受ける。
- ② 市から町田地区会加盟7社及び新聞販売同業組合加盟39店に行方不明になった高齢者等の情報をファクシミリで送信
- ③ 町田地区会加盟各社は、それぞれに無線を使い、行方不明になった高齢者等の情報を乗務員に連絡。町田市新聞販売同業組合加盟各店は、それぞれ店内にファクシミリ情報を掲示し、新聞配達員に行方不明になった高齢者等の情報を周知する。
- ④ 乗務員及び新聞配達員は通常業務の範囲内で搜索に協力
- ⑤ 発見した場合は、無線あるいは携帯電話で各社・店を通し、町田警察署又は市に連絡。
- ⑥ 町田警察署による保護

### 4. 実績

年度	行方不明相談	FAX送信回数	備考
2003年度	22	18	
2004年度	31	23	タクシーによる発見情報あり
2005年度	22	17	タクシーが声をかけ自宅まで送迎
2006年度	7	6	※9月末現在